

下水道科学館運営業務委託 長期継続に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

下水道科学館運営業務委託 長期継続

契約期間 令和7年3月1日から令和10年2月29日まで

2 選定した委託予定事業者

株式会社丹青社 関西支店

3 公募期間

令和6年10月16日から令和6年11月22日まで

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定委員名簿(敬称略、五十音順)

委員氏名	役職等
石川 聡子	大阪教育大学 教育学部教授
黒川 智弘	堺市上下水道局 危機管理・広報広聴担当課長
藤原 直樹	追手門学院大学 地域創造学部准教授

(2) 選定会議の開催日

第1回選定会議 令和6年9月4日

第2回選定会議 令和6年12月2日

(3) 審査基準

審査項目		審査基準	配点
実施体制	本業務に対する考え方	・管理運営の方針を踏まえ、本業務に対する姿勢・計画は十分であるか。 ・概要計画は安定的な運営だけでなく、運営の改善・向上を目指した取り組みが計画されているか。	30
	業務実施体制	・適切な人員配置・運営体制がとられているか、また、急な欠員の補填や、混雑時期の人員配置の工夫や対応ができるようになっているか。 ・緊急時や災害時に、即時対応が可能な体制が整っているか。 また、来館者の安全性が十分に確保できる体制となっているか。	
イベントの実施	イベントの実施	・イベントは、下水道への興味と知的好奇心を引き出し、学習意欲を喚起する企画や、下水道のしくみについて理解を深める企画等魅力あるものとなっているか。 ・親子や幅広い世代とともに楽しめる企画となっているか。また、イベント内容が多様で、それぞれのターゲット層に興味を持たせる内容となっているか。 ・イベントは、科学館の管理運営の方針に合致し、来館者が「何度でも訪れたい」と感じる内容となっているか。 ・万博連携イベントは、会場との具体的な連携計画や、科学館の効果的なPR内容を含んでいるか。	30
広報の実施	広報PR活動	・戦略的に広報を行い、様々な媒体の特性を活かしながら具体的かつ効果的なPR方法となっているか。 ・来館者がイベントや館の魅力を広めたいくなるような工夫がされているか。 ・情報発信だけでなく、ユーザーからの意見を取り入れる双方向の仕組みがあり、その意見を広報活動の改善、館の魅力向上につなげる取組みとなっているか。 ・科学館のPRのみならず、本市下水道事業の理解促進につながる情報発信となっているか。	30
経済性	業務実績	・過去10年間に、類似施設における管理運営業務等の実績の内容、成果が本業務にふさわしいものか。【類似業務：延床面積1,000㎡以上の博物館等における管理運営業務の元請としての実績】	10
	見積り	・提案内容に見合った見積り金額となっているか	
合 計			100

- (4) 審査を行った事業者(五十音順)
株式会社丹青社 関西支店
株式会社チャージ 大阪支店
全2者

- (5) 審査の結果(選定委員の評価点の合計点)(合計点の高い順)

審査項目	A社	B社
実施体制	73 点	75 点
イベントの実施	81 点	67 点
広報の実施	79 点	69 点
経済性	27 点	15 点
合 計	260 点	226 点